

すぐやる、必ずやる、できるまでやる

春寒の候、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

標題の言葉は、バンクーバー冬季五輪、スピードスケート500mでメダルをとった長島、加藤選手が所属する日本電産サンキョーの会長の永森重信氏の言葉です。

前回メダルが取れなかった500m、今回2名ものメダリストが輩出できた事は、赤字続きだった所属する三協精機製

作所が日本電産に買収され、経営陣が変わり、企業風土が変化したことも見逃せません。「1位」にこだわり、絶対にあきらめない永森流が2人に乗り移ったようです。

業績や成果は常に「選手(現場)」が上げるものです。しかし、その裏には、良いコーチ、良い監督、良いスポンサーがあり、目標や理念が一致し、一丸となった時、発揮されるものと思っています。

当社も同じであります。評価は「現場」が上げるものです。しかし、本社で電話をとる者も資機材を素早く運ぶ者も含めて「総合力」なのであります。この不景気に業績を落とさずこの期も終わろうとしている事は、つくづく一体感のある会社活動ができてきたお陰と心から皆様に感謝します。

今年のスローガンは、「素早く行動、生まれる信頼、明日を創るコニックス」とし、「すぐやる」ことを目標としております。そして、それが「必ずやる、できるまでやる」まで達成できた時、当社にも金メダルがもらえるのではないのでしょうか。

オリンピックでメダルを獲得した選手のような感動を仕事でも味わいたいものです。

まだまだ、寒い日が続きますが健康にご留意下さい。



代表取締役社長 吉田治伸